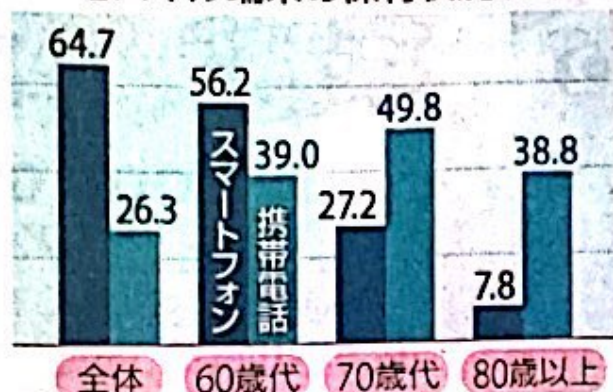


# 70代 モバイル保有7割

年代別のモバイル端末の保有状況(%)



年代別 SNSの利用状況(%)



シニア世代にもスマートフォンとソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)が徐々に浸透している。節目の年は、いつだったのだろうか？

総務省が毎年公表している「通信利用動向調査」では2018年9月時点で、60歳代のスマホの保有率が56.2%となり、初めて半数を超えた。その前年の44.6%から大きく伸び、平成時代の終わりに60歳代にもスマホが浸透した、と言えそう。

面白いのが、この時点で70歳代でも7割以上がモバイル端末を持っていることだ。ただし、スマホではなく携帯電話(ガラケー)を持つ人の比率が49.8%とほぼ半数で、スマホの保有率(27.2%)の

2倍近くだった。

同じ調査で、インターネット利用者のうちSNSを使っている人は全体で60.0%(前年54.7%)を占めた。

シニア層について見ると、60歳代が38.6%、70歳代が23.6%、80歳以上は16.9%とそれほど高くない。この調査は昨年5月に公表されたもので、現時点では最新版。近く昨年時点の調査が発表されるので、大きな変化があったら本欄でお知らせしたい。

スマホ保有率の推移などを動画にまとめた。QRコードからご覧



ください。パソコンは以下から。<https://www.yomiuri.co.jp/stream/78>

コラム「オンライン飲み会」 読売新聞オンライン

の「シニアのための編集長コラム」は、「『オンライン飲み会』始末」です。スマホはQRコードから、パソコンは以下からご覧ください。  
<https://www.yomiuri.co.jp/life/digilife/column>

